

令和4年度 特色ある区づくり事業 取り上げて欲しいテーマやキーワードとその理由

差し替え 資料3

<防災>

整理番号	取り上げて欲しいテーマやキーワードとその理由	振り分け意見	区役所意見	担当部会
1	【防災】 すべての住民に関わること。近年いたるところで起きる災害、災害の激甚化の現状があります。地域の(災害の)歴史を知ること、他人事ではないとの気づきをもってもらいたい。西川遊歩道・電車線遊歩道の距離板と共にQRコードでその地域の歴史、災害の記憶を知らせてはどうか。	自治協提案	自治協提案	第1部会
2	【防災】 地域での学校との合同避難訓練のメニューにマンネリ化が目立ち、コロナ禍での開催に悩んでいる。西区内で活動している防災士の定期的な会合や訓練などがあれば、地域の訓練に講師として防災士を派遣してもらい指導やアドバイスをいただければ、大変心強く思います。西区内の広い地域で取り組んでもらいたい。	区役所企画	自治協提案	第1部会
3	【防災】 空前のキャンプブーム＝防災ブームなので、砂浜や公園などを利用して子育て層を中心にしたキャンプ(防災)イベントを地域活動への参加のきっかけにする等の検討してほしい。	区役所企画	自治協提案	第1部会

<買い物難民>

整理番号	取り上げて欲しいテーマやキーワードとその理由	振り分け意見	区役所意見	担当部会
4	【お買い物ツアー】 高齢者が増えている中、独居や夫婦のみの世帯が増加している。毎日の食事以外にも、衣類等を自分の目で見て買い物することで心身ともに良い刺激となる。コミ協、自治会・町内会単位で定期的の実施できると気軽に参加できるのでは。	区役所企画	自治協提案	第2部会
5	【買い物難民】 「店に行って買い物をしたい」願望は解決しないものの、ネットショッピングにより、自宅に居ながらほとんどのものを購入できるので、パソコンやスマホを使用したネットショッピング講習を検討してほしい。日常の食料品や日用品に関しては、コープ等を利用すれば理論上はゼロにできるのではと考えております。	区役所企画	自治協提案	第2部会

<若年層の地域参加>

整理番号	取り上げて欲しいテーマやキーワードとその理由	振り分け意見
6	【支え合いのまちづくり】 若年層の地域参加の場を作る必要があるのではないかと。とりわけ青少年にスポットを当て、環境美化や防災に取り組んではどうか。	区役所企画 自治協提案
7	【若年層の地域参加、担い手不足】 夫婦で働く家庭が多くなり、時間を作ってまで参加しようと思わないのではと考える。取り組むにあたって、始めから大きな団体だとまとまりが悪いのではないかと。全地域に発足した地域コミュニティ協議会で解決に取り組むと若者を取り込んで参加させることができるのではと考える。	自治協提案
8	【担い手不足、若年層の地域参加】 自治会役員の選出が難しくなっており、少子化もあるが若手(子どもの親)との交流が少ないと考える。自治会事業の内容検討が必要ではないか。	自治協提案
9	【若年層の地域参加】 地域の活動は若年層が引き継いで、彼らにとって魅力的なものでなければ活性化は望めない。これまでとは違う視点で若年層が参加しやすく年齢を問わず有意義なことを行いたい。実施にあたっては、これまでの流れや全体を把握できる区役所企画事業の方が望ましい。	区役所企画
10	【若年層の地域参加】 以前は青年団活動や若者のスポーツでの交流の場が存在したが、現在は若者が参加する事業が減少している。西区に若者が集まるような行事等はあるのだろうか。	-
11	【地域住民で作る花壇】 地域の小学校や中学校で駅や公園の花壇(植木鉢)の作成を行うことは、駅の景観を高めることにつながりよいと考える	-
12	【若年層の地域参加】 若年層の地域参加が少ない理由の一つが(実体験等の)伝達不足が考えられます。家族など身近な地域の方の取組む姿勢を見れば手伝いくらいから初めてみようとする若者はいるはず。初めは手伝いとして始めた若者も、活動を重ねるうちに周囲の若者を誘うようになると思います。そのために、皆さんの活動の伝達、活動参加のきっかけなどを伝える必要がある。	区役所企画
13	【防犯】【担い手不足】【若年層の地域参加】 新興住宅地で回りは現役世代が多いが地域のつながりが希薄に感じる。負担にならない範囲で参加できる集まりがあれば、地域とつながる機会の創出になると思う。 地域ごとに事情が異なるので、地域への愛着、郷土愛が育まれるような事業を中長期的に実施してはどうか。	区役所企画
14	【まちの資産の再認識と次世代に伝える仕組みづくり】 地域にあふれる重要な文化、歴史などを地域、学校等と一緒に再認識・子どもが生まれたまちに誇りをもって成長できる仕組みづくりが重要なのではないかと。	自治協提案

全部会で共有

<区役所への提言>

整理番号	取り上げて欲しいテーマやキーワードとその理由	振り分け意見	区役所担当課
15	<p>【8050・ひきこもり世帯の支援】</p> <p>報道や書籍等で話題となっている8050世帯、ひきこもりの世帯は西区においても大きな課題であり、早急に必要な支援策や支援量も確保が必要だが対象の実態把握が十分に行えていない。令和3年度より、西区のNPOイツモトコ、ひきこもり相談支援センター、地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、民生委員児童委員、社会福祉協議会、区役所健康福祉課がメンバーとなり西区ひきこもりびとミーティングを実施、対象世帯への支援について検討等を行っている。当ミーティングでは、西区内のケアマネージャー約150名の協力のもと、8050世帯がケアマネージャー担当世帯にいくつあるのか実態調査のアンケートを行う予定だが、介護保険のケアマネージャーがついているのはごく一部である。西区内にどれくらい対象世帯がいるのか、西区だけでも全区的な実態調査が必要であると考え。すでにひきこもりびとミーティングがあり、区役所関係課と協議しながらアンケート内容など集中的に協議するとよいと思われる。</p>	区役所企画	
16	<p>【地域の子育て支援】</p> <p>支援センターを利用されているママ達から感じるの、「初めての赤ちゃんも大変だけど、ほんとうにどうしていいのか、わからず四苦八苦しているのは、自我が芽生えはじめた幼児期の子どもを育てている母親たちが不安や悩みを抱えて誰にも相談できずにいる」と言う現状である。現在西区で実施されているBPPプログラムは第1子のママ達に向けての支援プログラムだが、それと同時に第2子以上のママ達にも同様のプログラムが必要だと強く感じる。すでに秋葉区や南区・東区では第2子以上のプログラムBP2が実施されており、BPは現在西区だけの開催でどの区よりも充実しているが、是非とも子のBP2プログラム親子の絆づくりプログラム「きょうだいが生まれた」に取り組んでほしい。</p> <p>この事業は参加するに当たり、最も安心と安全が保たれなければならないため、子育て中のママたちにとって不安や心配ごとを話せることや、他の人の子育てを聞ける場と親自身が育ちあう環境をつくるためには、行政のもとで実施するのは一番の安心を保証できると思われる。不安や悩みをどうすることも出来ない状態をそのままにすることは、虐待を招きかねない状態を作るため、子ども虐待予防対策としても、「第2子以上の子育てしている母親にBP2プログラムを届ける」という施策を区役所企画事業として検討してほしい。</p>	区役所企画	健康福祉課
17	<p>【BBQ】</p> <p>西区人口15万人に対して、BBQができる場所が1つで、かつ炭捨て場も無い状況では不足すぎている上、BBQは老若男女(地域)の交流の場にもできるので、砂浜BBQのルール決めや海岸の炭捨て場の設置、既存公園の有効活用などで、多くの方がBBQを楽しめるような検討をしてほしい。</p>	区役所企画	農政商工課 建設課
18	<p>【防災】</p> <p>防災に関して危機感を感じている。個人として備蓄やハザードマップの確認はできるが、もっと大規模な災害が起きた時の避難所運営については、知らないことが多いというのが現実です。ある程度長い期間での取り組みが必要であると考え</p>	区役所企画	総務課
19	<p>【学生の行政への参加】</p> <p>自治協議会への参加をきっかけに、西区についてさらに興味をもった。地域の若者に対して政治に興味をもってもらうために、会議の公聴や意見の募集をしてみてもどうか。</p>	-	地域課
20	<p>【ヤングケアラー】</p> <p>深刻かつ早急な対応が必要だが、プライバシーにも関わってくるため行政で取り組んでほしい。</p>	区役所企画	健康福祉課
21	<p>【SDGs】</p> <p>地元愛の醸成にもつながるため、持続的な海、川、砂浜、保安林、農地など、子どもを含めかつ学校などと連携して、地域住民全体で勉強できる機会を検討してほしい。</p>	区役所企画	地域課 総務課

新規事業に対する  
意見の報告 8月本会

<その他>

整理番号	取り上げて欲しいテーマやキーワードとその理由	振り分け意見	区役所意見
22	【デジタルトランスフォーメーション】 多様化する社会の中で「ついていけない」と感じる方々へのフォロー対策を、よりミニマムで行うことで効果があるのではと考える。	自治協提案	-
23	【小・中学校の生徒数減少】 生徒数減少＝家庭数減少となり、それにより伝統行事の廃止などが行なわれている。PTAの役回りで負担がある。西区の中で小規模校とされる地域の実態のため、学校合併など区役所事業で行うほうが効率的だと思われる。	区役所企画	-
24	【「地域課題の情報共有」～「ソーシャル・キャピタル」醸成へ～】 「健康格差」「貧困」「防犯・防災」「地域のささえあい」などの現代的な地域活動について根底にある社会的要因は相互に関連していることから情報共有とニーズのすり合わせによって、コラボレーションのとり組みが意外な効果を生み出すと考えられる。区民の課題意識を明確化・共有した上での現実の共同事業・地域資源の共同開発とするには、まずは地域住民や自治協議会での話し合いのプロセスを経ることで、区民が主体的に一緒に取り組む機運や信頼関係が形成されてくると思われるので、区自治協議会提案事業として取り組むのが効率的だと考える。	自治協提案	-
25	【デジタル社会への対応(キーワードとしてはSDGs, DX)】 日本全体のデジタル化がコロナ禍で加速的に進んでいくことを踏まえ、スマートシティ構想などで近い将来課題となると予想される。情報技術が進むほど、デジタル社会における格差が拡大する懸念から、地域社会での自助・共助、公助について市民と協働的に議論することが必要と考える。	区役所企画	-
26	【バリアフリー・シティ】 ハード面でもソフト面でもバリアを取り払い、その結果、様々な地域住民が交流しやすくなることで多様性を尊重できる町になるのではないかと考える。高齢化社会への対応策にもなると考える。相応の時間と予算が必要であり、民間への指導力も求められることから区役所事業とするべきと考える。	区役所企画	-
27	【多世代交流】 西区自治協議会提案事業として企画・立案し、区役所企画事業として実行してはどうか 実施の手法としては、区のホームページから各コミ協・自治会ごとのFacebookなどへのリンクさせる。そこへ投稿することで区外に在住するおじいちゃんおばあちゃんが離れて暮らす孫の様子を見ることができる。また、SNSを活用することで、若い世代が参加しやすい。	区役所企画 自治協提案	-
28	【安心安全なまちづくり】 児童、生徒、保護者を巻き込み、通学路の安全＋環境美化に取り組んではどうか。	区役所企画 自治協提案	-
29	【一村一品運動】 1地域1特産物や名所などを出してもらい、西区の特色となるようにしてはどうか。	-	-
30	【コロナ禍、行事復活】 令和2年、3年の2か年にわたり、コロナ禍で地域の運動会、防災訓練、まつり、芸能音楽祭、さらには消防団活動の消防演習などの伝統行事がことごとく中止された。 しかし、2年間中止したこれらの行事を復活させることはかなり難しい。中には伝統行事が消え去ろうとしている現実も迫っている。	区役所企画	-

参考として紹介